

(平成28年6月作成)

# 事務事業評価シート

(H.28)No.	4350	(H.27)No.	-
-----------	------	-----------	---

事務事業名	庁舎設備改修事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
総務部	契約管財室	羽後 和秀	

会計区分	事業コード	021901
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 総務費	庁舎設備改修事業	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 財産管理費	庁舎設備改修事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5	新しい時代を拓く自立と協働による地域経営
	基本施策	3	持続可能な市政運営
	施策	2	効果・効率的な市政
	小施策	4	行政資源の有効活用
重点施策コード			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
市庁舎の設備機器において、対応年数が経過しているものや、今後更新を迎える機器の取替を計画的に行うことにより、安定・安心した施設管理を行うとともに、予防保全を施すことによる施設の負担軽減・延命化を図ります。
事業内容
・設備機器の状況等について、毎年見直しを行い緊急度・重要度の高いものから計画的に改修を行うことで、事業費の平準化を図ります。 ・改修においては、予防保全による施設への負担軽減・延命化を図るだけでなく、省エネルギーのものやランニングコストの低いものを採択するほか、機能や市民の方の利便性の向上についても検証します。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)		
		・電気設備改修工事に係る実施設計委託(4~5月) ・電気設備改修工事 入札(7月) 工事期間(10月~H29.3月) (停電を伴う作業:月1~2回)		
		H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
		・庁舎エレベーター改修	・自家発電設備改修	・議会音響設備改修

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費		70,900千円	70,000千円	70,000千円	30,000千円
内訳(千円)	国・県支出金				
	地方債		70,900		
	その他( )				
	一般財源	(0)	0	70,000	70,000
人工数	職員		0.60人	0.60人	0.60人
	臨時職員等	0.00人	0.05人	0.05人	0.05人
②概算人件費	(0千円)	0千円	4,645千円	4,645千円	4,645千円
①+②総事業費	(0千円)	0千円	75,645千円	74,645千円	34,645千円

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
庁舎建設から約30年が経過し、不具合が生じる設備も多く見受けられる。これまで、不具合が生じた際に対応する事後保全を行ってきたが、主要設備においては、業務、市民の方への影響が大きくなることから、緊急度・重要度の高い設備を予防保全による計画的に改修を行うことが必要である。	・設備の状況を毎年調査し、重要度・緊急度の高い設備から計画的に改修を行います。 ・改修後のランニングコストのほか、改修費用を削減するための手法を検討し、費用の縮減を図ります。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか 一(施策指標の達成に分類できない)	
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由 今後、建築から更に年数が経過し、一斉に更新時期を迎えることが予想される中、老朽化により、緊急的な措置が必要な箇所も併せて生じてくることも考えられることから、計画的な整備、更新が重要となる。	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画